

PRESS RELEASE

報道関係者各位

中国提携大学に向けた留学プロジェクト説明会を実施

桐蔭横浜大学は、中国のトップ大学との留学生制度を充実させ、教員間の学術交流活動にも力を入れ、国際交流関係を深く築いています。



10月14日、桐蔭横浜大学と提携関係にある華東政法大学、西南政法大学、南京師範大学、華僑大学、四川外国語大学の学部生・院生に向けた「留学プロジェクト説明会」をオンラインで実施しました。今年度は、5月13日に行った同説明会に続き2度目の開催でしたが、当日は5つの大学より約40名の中国の学生・院生が参加し、本プロジェクトについて活発な質疑応答がなされ、関心の高さがうかがえました。

桐蔭横浜大学は、1980年代から中国の大学と国際交流関係を築き、現在、中国の10大学と国際交流基本協定書を締結しています。とりわけ、上記5つの大学とは、2007年以降、基本協定書をもとに、交換留学や学士と修士のダブルディグリープロジェクト（※）の協定書を結び、留学制度を充実させているほか国際シンポジウムなどを定期的で開催し、教員間の学術交流を図っています。

中国の提携大学との国際交流は、コロナ禍においてもZOOM等を用いて中断せずに継続しています。法学部では、定期的に学部生を提携大学に派遣し、毎年数名の留学生の受け入れを行っており、法学研究科では、毎年ダブルディグリープロジェクトに参加する院生の受け入れを行っています。

今年度7月には西南政法大学の副学長と4名の学部長らの代表団が桐蔭横浜大学を訪れ、今後の国際交流のあり方や展開について協議しました。これを受け、12月には、桐蔭横浜大学の代表団が、西南政法大学などの中国の提携大学を訪問し、短期留学プロジェクトや教員定期交流プロジェクト等につき協議し、より留学制度を充実させつつ大学間の学術交流を深化させ、ますます活発に国際交流を図っていく予定です。

※ダブルディグリープロジェクトとは

中国の提携する所属大学に在籍しながら、本学3年次に編入ないし本学大学院に入学して、両大学の卒業要件・修了要件をみたせば、中国の所属大学と桐蔭横浜大学の両方で学位（学士ないし修士）を取得することができる制度

お問い合わせ先

桐蔭横浜大学

【代表者】学長 森 朋子

【所在地】神奈川県横浜市青葉区鉄町1614番地

【事業内容】4年制大学教育機関

【公式サイト】<https://toin.ac.jp/univ/>

【本件に関するお問合せ】担当：大矢、工藤

TEL: 045-972-5881 Email: u-koho@toin.ac.jp